

令和7年度 第1回公民館運営審議会資料

1. 報告事項（資料参照）

- （1） 令和7年度 芦屋川カレッジ及び大学院
- （2） 春の公民館講座の実施状況について
- （3） 夏の公民館講座の実施状況について
- （4） 公民館音楽会
- （5） 講演会・公開セミナー
- （6） 常設展示事業
- （7） 公民館ギャラリー
- （8） 夏休み子ども教室
- （9） にほんご教室
- （10） 兵庫県身体障害者社会学級事業

2. 協議事項

- （1） 令和7年度秋・冬の公民館講座の実施について
- （2） 講演会・公開セミナー
- （3） 公民館音楽会
- （4） 兵庫県身体障害者社会学級事業

1. 報告事項

(1) 令和7年度 芦屋川カレッジ及び大学院

芦屋川カレッジ第42期生及び聴講生, 大学院18期生

内容	コース名	定員	受講生数		
			男	女	計
芦屋川カレッジ第42期	日本文化コース	50	8	18	26
	世界文化コース	50	13	7	20
芦屋川カレッジ	日本文化コース	50	15	27	42
聴講生	世界文化コース	50	24	30	54
芦屋川カレッジ 大学院18期		100	35	64	99

芦屋川カレッジの取り組み

芦屋川カレッジのプログラムは、文部科学省の「長寿社会における生涯学習の在り方について」および「第二次芦屋市生涯学習推進基本構想」に基づいて構成されており、高齢社会における多様な学習機会の提供に努めています。

プログラムの内容は以下の通りです：

地域社会を理解するための学習プログラム

芦屋の特性を活かし、地域参画や社会貢献を支援する学習プログラム

健康で自立した生活を送るために必要な知識の習得

教養を深めるための一般教養プログラム

特に、地域の歴史・文化・自然に関する学びは、郷土への理解と愛着を深め、地域の活性化や社会参加への意識醸成につながっており、受講生からも高く評価されています。

開講記念講演と交流活動

本年度の開講記念講演には、地域課題の解決や住民主体のまちづくりを研究されている関西大学の草郷孝好教授をお招きしました。「しあわせが循環するウェルビーイングなまちを育てる」と題した講演は、市民活動の意義や可能性について考える貴重な機会となりました。また、受講初期からの交流を目的として「放課後カレッジ」と称し、昼食をとりながら受講生同士が語り合い、絆を深めるミーティングも開催しています。

受講生の評価と今後の課題

講義内容に関するアンケートでは、受講生から「入学しなければ知ることができなかった幅広いジャンルの講義に満足している」「一年間の学びを通じて心の栄養剤をたくさんいただいた」など、肯定的な評価が多く寄せられています。受講理由として最も多かったのは、学びの充実に加え、「人との交流」です。「多くの人とコミュニケーションが取れ、60 歳以降の人生において貴重な機会をいただいた」といった感謝の声も届いています。

一方で、受講者の応募数は令和 2 年度以降減少傾向が続いており、現在、市民に広く芦屋川カレッジの存在を認知してもらうため、募集時期だけではなく、年間を通じて芦屋川カレッジの広報チラシを配布することや、公開講座を年間を通じて設定するなど広報に努めて参ります。またカリキュラムを更に魅力的なものにするため、受講生および OB の方々の意見も参考に再編を検討しています。

大学院は芦屋市の特徴的な生涯学習プログラムのひとつであり、芦屋川カレッジを修了し、更に深く広範な学びを求める卒業生の要望に応えるものです。従って、カレッジでは多岐な分野の講座を設けていますが、大学院では 1 年間で学習する統一テーマを設け、理解を深めるため、それぞれの分野に関わる第一人者、大学教授を招聘しています。

今年度は「江戸時代 ～近代化前夜の日本～」とし、医学や教育、物流、美術など多岐にわたる分野について学習します。また、今年度は定員を大きく超える受講申し込みがあったため、抽選にもれた方にも講義を受講する機会を提供するため、一コマを芦屋川カレッジ大学院公開講座としてルナホールで実施しました。

注：大学院は 129 名の方が申し込まれ、抽選のうえ 100 名当選されましたが、その後、1 名が病気のためにキャンセルされました。

(2) 春の公民館講座

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数	延べ出席者数	全回出席者数
春の開講記念講座 会下山遺跡からみた近畿弥生社会～邪馬台国問題もからめながら	4月5日	100	125	125	125	125
西洋美術史講座 北方ルネサンス美術の魅力	全3回 4月28日, 5月12日, 6月23日	100	101	83	214	63
論語講座 人生100年時代を豊かに生きる「論語の知恵」	全2回 5月8日, 6月12日	100	102	83	153	70
日本史講座 おかねの日本史 一貨幣は誰が作ってきたのか パート3	全2回 5月10日, 6月7日	100	59	50	89	39
サイエンス講座 がんの診断と治療 一特に、その放射線の役割、画像検査と放射線治療	全2回 4月26日, 6月7日	100	44	34	62	28
「世界はニュースだけではわからない」	全6回 4月19日, 5月24日, 6月28日, 7月5日 8月30日, 9月20日	100	91	—	—	—
田辺真人先生の「文化の歴史」Part31	全6回 4月17日, 5月15日, 6月19日, 7月17日 8月21日, 9月18日	100	110	—	—	—
芦屋市立病院公開講座	全3回 4月12日, 5月10日, 6月14日	100	—	—	109	各回毎募集

(3) 夏の公民館講座 (8月20日現在)

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数	延べ出席者数	全回出席者数
芦屋で暮らす ～国際文化都市のはなし～	全2回 7月4日, 8月8日	90	49	44	82	38
芦屋の歴史 学芸員と探る芦屋の歴史	全2回 7月24日, 9月25日	90	62	55	未	未
関西文化に育まれた文学 ～作家が描く日本の美～	全2回 8月28日, 9月11日	90	92	未	未	未
日本美術の魅力 ～大阪を描く、大阪で描く～	全2回 8月22日, 8月29日	90	78	未	未	未
芦屋病院公開講座	7月12日, 8月2日	100	—	—	115	各回毎募集

(4) 公民館音楽会

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数
「春風の織りなす景色 ～フルートとハープ」 今田聡美（フルート）・上田あづ紗（ハープ）	全1回 5月24日	100	110	77
「夏色コンサート～歌とピアノで奏でる夏の夢～」十鳥可奈子（ソプラノ）、信多仁子（ピアノ）	全1回 7月12日	100	117	96
「trio sambop II ジャズ x サンバ」中島徹（ピアノ）、岩田晶（ベース）、植松波音（ドラム）	全1回 8月30日	100	未	未

(5) 講演会・公開セミナー

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数
あかちゃん向け絵本の読み聞かせ会(こどもの読書週間ポスター展 関連イベント)	全1回 5月12日	—	3組6名	3組6名
人権セミナー 多文化日本の可能性—オーストラリアの変化から考える	全1回 5月29日	100名	45名	45名
消費生活セミナー 人生さいごまで自分らしく～伝えたいこと・残したいこと～	全1回 9月4日	60名	未	未
親子ひろば 夏のお話し会と作って遊ぼう	全1回 7月19日	15組	17組	15組
平和セミナー 「青い目の人形」が伝える戦争と平和	全1回 7月25日	600名	51名	51名
平和セミナー 平和の光 絵本で灯す	全1回 8月9日	50名	18	18

(6) 常設展示事業

講座名	日時
「こどもの読書週間ポスター展」	4月28日～5月12日
芦屋大学図書館稀覯書展覧会 第5回「世界の織りと染め」	5月22日～6月1日
「平和展—戦争と学校—」	7月16日～7月27日
展示 「平和の絵本パネル展」	8月3日～8月16日
芦屋大学図書館稀覯書展覧会 第6回「日本の宗教の書」	9月19日～9月28日

(7) 公民館ギャラリー

「写楽会 作品展」	5 月 14 日～5 月 19 日
「淡遊会」	6 月 11 日～6 月 16 日
「篆刻展」	8 月 20 日～8 月 25 日
「芦屋郵趣会」	9 月 13 日～9 月 15 日
「魔法の手」	10 月 2 日～10 月 8 日
「陶芸きりん作品展」	11 月 19 日～11 月 24 日
「コミスク展」	11 月 26 日～12 月 1 日

(8) 夏休み子ども教室

「夏休み子ども教室」は、子どもたちの将来に役立つ力を育む貴重な機会となるよう企画しました。能動的な学びを最大限に引き出し、多様な大人や仲間との出会いを通して、子どもたちの豊かな成長を支援します。

企画の考え方

夏休み子ども教室は、以下の 4 つの柱に基づいています。

- ・能動的な学び：一方的に教えるのではなく、子どもたち自身が「なぜ?」「どうして?」と問いかけ、自ら考え、行動する体験学習や探究活動を重視します。
- ・多様な大人との出会い：さまざまな分野で活躍する専門家や地域の大人が講師として登場し、子どもたちは多様な価値観や生き方に触れることができます。また、異なる年齢の子どもたちとの交流を通じて、協調性や共感性といった社会性を育む「居場所」にもなります。
- ・地域全体の学びの輪：子どもたちに関わる大人が、自身の経験や知識を伝える場を設けることで、大人自身の学びにも繋がります。これは、地域全体で子どもたちを温かく見守り、育んでいくコミュニティを形成し、地域の活性化にも貢献します。
- ・学びの機会均等：経済的な理由やその他の背景に関わらず、全ての子どもたちが多様な学習や体験プログラムに参加できるよう環境を整え、公平な学びの機会を提供します。これらの考え方に基づき、芦屋市立公民館では全 15 講座の夏休み子ども教室を開催します。

今年の夏休み子ども教室では、知的好奇心を刺激し、感性を磨き、新たな発見に繋がる 15 教室の多彩な講座を企画しました。

① 歴史と文化に触れる

あしやの歴史調査隊になろう

芦屋市立美術博物館で、学芸員と一緒に芦屋の歴史をひも解く探検に出かけます。身近な場所から歴史の面白さを発見し、郷土への理解を深めます。

② ③篆刻教室「名前の一字などを作ろう」

印刀を使って石に自分の名前の一字を彫り、世界に一つだけのオリジナル印を作ります。作品は日本篆刻展に出品されます。

④ ⑤まが玉のアクセサリー作り

芦屋市の学芸員からまが玉の歴史を学び、石と紙やすりを使って実際にアクセサリーを制作します。古代の文化に触れながら、ものづくりの楽しさを体験できます。

⑥ 手話で伝えよう！

聞こえない・聞こえにくいことへの理解を深め、簡単な手話を使ったコミュニケーションに挑戦します。多様な人々との共生について考えるきっかけを提供します。

あわせて、ルナホールで予定している手話通訳付きの人形劇公演もご紹介します。実際に手話が活用されている場面に触れることで、子どもたちが手話をより身近に感じ、学んだことを活かせる場面や可能性を思い描くきっかけにもつながることを願っています。

⑦ ゲーム感覚で楽しく遊びながら体力づくり

ロープやボールを使って楽しく体を動かしながら、自然と体力向上を目指します。遊びの中から運動能力や協調性を育みます。

⑧ わくわく・たのしい絵本 de 読書感想文

夏休みの宿題の定番「読書感想文」を、絵本と質問を使いながらゲーム感覚で楽しく学びます。親子で参加し、読み聞かせや対話を通じて子どもの思いを引き出し、感想文を組み立てる力を養います。感想文にとどまらず、意見の整理や文章の構成力を学べる内容で、過去の受講者からはこのやり方で賞をもらったという声も届いています。

⑨ 水彩画教室「ひまわりを描こう」（色の使い方を考えながら）

下書きの描き方や色の塗り方のコツを学び、夏を象徴する「ひまわり」を水彩画で描きます。色彩感覚を養い、絵を描く楽しさを体験します。

本教室が長年『ひまわり』を題材にしているのは、夏の花というだけでなく、芦屋市にかつて所蔵されていたゴッホの『芦屋のひまわり』に思いを馳せ、戦禍で失われた名画の歴史的背景を感じながら、平和への願いも抱いてもらいたいと願っています。

⑩ 水彩画教室「夏の素材を描こう」（構図）

構図の基本を学んだ後、夏の身近な素材をモチーフに絵を描きます。ものの見方や配置の工夫を通じて、創造力を刺激します。

本教室では夏の野菜を題材としていますが、虫や風景の写真など、子どもたちが描きたいものを自由に持ち寄ることも可能です。自分の興味や想像力を活かして、多様な素材を自由に表現できる場を提供します。

⑪ 絵手紙を書いてみよう！

夏の野菜や生き物をモデルに、小筆と水彩絵の具を使って絵手紙を描きます。短い言葉と絵で気持ちを伝える温かさを学び、表現の幅を広げます。

⑫ 作曲をしてみよう！

音楽の知識がなくても大丈夫！感じたままをシールと五線紙で形にし、即興演奏で音にする作曲に挑戦します。自由に音を表現する喜びを体験を通じて学びます。

⑬ 理科教室「万華鏡を作ろう」

光の性質や反射の仕組みを学び、正三角形の万華鏡を制作します。自作の万華鏡を通して、科学の不思議さや面白さを体感できます。

⑭ 発見！チョコレートのひみつ（食育）

チョコレートの材料であるカカオについて学び、カカオ農家や工場の仕事を知ります。自然の恵みや食への感謝の心を育みます。

⑮ 室町時代から続く演劇「能にふれてみよう」

日本の伝統芸能である「能」の世界を体験します。能の動きで気持ちや場面を表現するワークショップを通じて、日本の豊かな文化に触れ、表現力を育みます。

あわせて、今秋ルナホールで開催される能公演もご紹介します。芦屋市ゆかりの演目「鶴（ぬえ）」を観ることで、芦屋市にある鶴塚や鶴退治伝説などの歴史も学びます。

講座名	募集人員	応募者数	受講者数
① 芦屋の歴史調査隊になろう！	15	20	12
② てん刻教室「好きな一字印を作ろう」(午前)	25	41	25
③ てん刻教室「好きな一字印を作ろう」(午後)	25	36	22
④ 「まが玉のアクセサリ作り」(午前)	16	37	16
⑤ 「まが玉のアクセサリ作り」(午後)	16	35	10
⑥ 手話で伝えよう！	30	21	14
⑦ ゲーム感覚で楽しく遊びながら体力づくり	30	40	26
⑧ わくわく・たのしい絵本 de 読書感想文	20 組	35 組	19 組
⑨ 水彩画教室「ひまわりを描こう(色の使い方)」(午前)	24	57	23
⑩ 水彩画教室「夏の素材を描こう(構図の取り方)」(午後)	24	31	22
⑪ 絵手紙を書いてみよう！	16	22	15
⑫ 作曲をしてみよう ♪ ♪	25	29	20
⑬ 理科教室「万華鏡を作ろう」	30	73	—
⑭ 発見！チョコレートのひみつ	30	87	—
⑮ 室町時代からつづく演劇「能にふれてみよう」	18	10	—

【特記】

- ① 美術博物館内を実際に巡り、展示物やその解説をよく読めば答えられるように構成されており、子どもたちは熱心に収蔵品を見て回っていました。中にはとても早く問題を解き、いきいきと芦屋の歴史や発掘品について発見したことを語ってくれる子もいました。
- ②③
低学年は、あらかじめ希望の文字が転写された石を彫るところから、高学年は転写から挑戦しました。それぞれ集中して丁寧に深く掘り、美しい印影が押せたときは嬉しそうな表情を見せていました。最後は夏らしい絵葉書を描き、隅に落款を押して仕上げました。これらは篆刻展に出品される予定です。
- ④⑤
勾玉の用途や形、素材などについて考古学な解説を聞いた後、長方形の石から思い思いのものが玉を削り出しました。作った首飾りを、その後の別の教室にも身に着けて来てくれる子もいました。
- ⑥聴覚障害のある先生から、簡単な手話を楽しみながら学びました。手話が特別なものでなく、楽しいコミュニケーションの手段であることを実感できました。
- ⑦酷暑のため屋外での活動が限られる中、子どもたちは遊びながら体を伸び伸び動かしていました。最初は隣の人にも遠慮がちでしたが、チームに分かれて行う運動遊びなどを通じて自然と打ち解け、笑顔が多く見られました。
- ⑧文章を読み、感想を引き出し、親子で感想文を作り上げました。親子で1つのことに集中し、真剣に向き合う時間となっていました。
- ⑨色相環図を用いて、作りたい色の作り方について解説を受けた後、ひまわりをモデルに思い思いの画を描きました。
- ⑩三角構成の絵画を鑑賞し、三角形の構図の役割について解説を受けた後、瓶や夏野菜などを各テーブルに配置し、安定感のある静物画を描くことに挑戦しました。
- ⑪好きな夏野菜などを一人一つずつハガキに大きく描き、気持ちを伝える言葉や短い文章を添えた絵手紙を制作しました。送る相手を思い浮かべながら描く姿が見られました。
- ⑫グループごとにイメージを話し合い、あまり複雑なルールを設けずに五線紙に思い思いにシールを貼って楽譜を作りました。その楽譜をもとに、ピアニストがメロディにして演奏し、皆で鑑賞しました。グループ毎に個性的あふれる楽譜となりました。

今後の講座に対する要望としては、理科実験や英会話、工作などが多く挙がりました。また、算数をゲーム感覚で楽しく学べる講座や、プログラミングなど新しい学習分野を取り入れた講座を望む声も多く寄せられました。

(9) にほん語学級

講座名	回数	実績
にほんご学級	全 48 回 (含 2 回イベント) 毎週木曜日	22 名受講

公民館では日本語学習を希望する外国人のニーズに応え、草の根の国際交流の場を提供しています。支援者による七夕会や新年会など日本の文化体験も受講生に大変好評です。ここ 1 年で新規の受講希望者が増えてきており、現在入会希望者 2 名が待機となっています。教室の一人一人に寄り添うきめ細やかな質を維持しつつ、増える受講希望者にどのように対応していくかは、芦屋市国際推進課や芦屋市に任命された「※芦屋市地域日本語教育コーディネーター」と情報を共有しながら、できるだけ受講生・受講希望者に応えたいと考えています。

(※「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」(文化庁)の一環として芦屋市が任命した「地域日本語教育コーディネーター」が学習の様子を見学に来られて「芦屋での日本語教育を円滑に進めるための調整」するなどの活動が始まっています。)

(10) 兵庫県身体障害者社会学級事業

義務教育終了年齢以上の、障害者本人や、地域のニーズを踏まえた講座を実施し、障害者の社会参加・活躍を一層促進するため、兵庫県が当該運営委員会に事業を委託している。

令和 7 年度 阪神青い鳥学級南支部尼崎教室

概要 芦屋市, 西宮市, 尼崎市に在住の視覚障害者を対象とした教室で, 今年は
尼崎市が幹事。定員 尼崎市 10 人 西宮市 10 人 芦屋市 10 人

内容

9 月 25 日 小田南生涯学習プラザ 開講式 詩吟教室 ～詩吟を楽しもう～
10 月 23 日 尼崎城 尼崎城と阪神地区の歴史講座
11 月 27 日 小田南生涯学習プラザ ICT 講座 単独歩行ナビゲーションシステム他
コンサート ピアノ演奏&お話し みんなで歌おう
閉講式

令和 7 年度 阪神くすの木学級 宝塚教室

概要 阪神間の 7 市 1 町 (芦屋市, 西宮市, 尼崎市, 伊丹市, 川西市, 宝塚市, 三田市, 猪名川町) に在住の聴覚・言語障害者が対象の教室で, 今年は宝塚市が幹事。定員 30 人。

内容

9 月 28 日 市立東公民館ホール 開校式 宝塚デジタルミュージアム活用講座
ニュー スポーツ体験
10 月 19 日 市立文化芸術センター、市立手塚治虫記念館
11 月 30 日 市立中央公民館ホール ワークショップ 閉講式

2. 協議事項

(1) 令和5年度 秋・冬の公民館講座について

秋の講座

講座名	講師	回数・日時	定員
秋の開講記念講座 「歌舞伎入門」	立花志十郎（NPO法人伝統文化みらい塾代表）	10月18日	90
田辺真人先生の『文化の歴史 Part32』 -芦屋の生活・文化史から-	田辺真人（県立兵庫津ミュージアム名誉館長）	全6回 10月16日, 11月20日, 12月18日, 1月15日, 2月26日, 3月19日	90
世界はニュースだけでは わからない	岩壺健太郎（神戸大学大学院経済学研究科教授）他	全6回 10月25日, 11月22日, 12月20日, 1月31日, 2月21日, 3月28日	90
西洋美術史講座 ドイツ・ルネサンス美術の魅力	宮下規久郎（神戸大学大学院人文学研究科教授）	全3回 10月10日, 11月14日, 12月12日	90
まちづくり講座 災害多発時代を生き抜く ー超高齢社会のまちづくり	山泰幸（関西学院大学人間福祉学部教授）	全2回 10月9日, 12月11日	90
サイエンス講座 生成AIを生涯学習の友に	石田亨（京都大学名誉教授）	全2回 11月21日, 12月5日	90
芦屋市立病院公開講座	芦屋市立病院 医師	全3回 10月11日, 11月8日 12月13日	90

冬の講座 予定

講座名	講師	回数・日時	定員
芦屋市立病院公開講座	芦屋市立病院 医師	全3回 1月10日, 2月14日 3月14日	100

(2) 講演会・公開セミナー

講座名	回数・日時	定員
家庭教育セミナー	2月18日・1回	600
消費生活セミナー	9月4日・1回	60
親子ひろば「作ってあそぼう」	7月19日/未定・2回 音楽室	30

(3) 公民館音楽会（年間5回）

講座名	回数・日時	定員
「バロック音楽のごちそう ～トリオ・ソナタの愉しみ～」大塚まゆみ・大津睦（バロックヴァイオリン）、内藤謙一（ヴィオラ・ダ・ガンバ）	10月11日 1回	100
「花井 結 ヴィオラコンサート（仮題）」 花井結（ヴィオラ）、新ゆう（ピアノ）	11月22日 1回	100

＊芦屋市在住、出身者を中心とした演奏家により、多様なジャンルの音楽の鑑賞機会を設ける。トークや解説をまじえ、また一緒に歌うなど、音楽を身近に親しめるものにする。

(4) 兵庫県身体障害者社会学級事業

青い鳥学級の芦屋市担当は令和8年、くすの木学級は令和10年の予定です。
今年度の尼崎市くすの木学級では、市の職員5名で対応しており、障害者の対応に精通していない公民館でも、来年度の他市担当の学級に積極的に参加し、体制を整えてまいります。